



# 関善光寺

## 市民活動、交流のできる古刹

「関善光寺」の名で親しまれている宗休寺（西口吉町）。歴史や文化を伝えるこの古刹で現在、市民団体などが協力して「てらっこ」や「善光寺茶屋」をはじめフリーマーケットやコンサート、写生大会や林間学校など、さまざまな市民活動が展開されています。新しい市民交流の場として、地域の活性化に貢献しています。

### ◆宗休寺（関善光寺）の概要・歴史

宗休寺（関善光寺）の創建は延享2年（1745年）、広瀬新太郎利忠が祖父母の遺言で祖先の霊を供養するため、草庵を設けたのが始まりと伝えられています。宝暦5年（1755年）に竹本院の古跡を現在地に移し、智堂大和尚（比叡山）を招き開山し、寺号を宗休寺竹本院に改称しています。宝暦9年（1759年）に大仏殿が完成。寛政10年（1798年）に信州善光寺（長野市）の出開帳がこの地で行われ、その縁で上野輪王寺輪番公澄法親王の持仏一光三尊善光寺如来を拝領しています。文政元年（1818年）、一光三尊善光寺如来を本尊として信州善光寺を模した堂宇が計画され、10年の歳月をかけた文政10年（1827年）に竣工しています。以来、「関の善光寺」として広く信仰されるようになりました。

## ◆境内で多世代交流広場 「てらっこ」開設

地域の魅力を発信するフリーマガジンを定期的に発行するなどの活動をするNPO「せき・まちづくりNPOぶらめらん」が、かつて地域の中心としてにぎわっていたお寺を活性化、子育て中の母親が子どもと共にほっとできる場所づくりを企画しました。「子育てを支えながら、お寺を憩いの場として復活させること」を目的に平成23年5月、同寺を会場に「てらっこ」をオープンさせ、週2回（火曜、金曜）の開催を続けています。

この母親を応援しようと、絵本、工作、わらべ唄などさまざまな子ども向けイベントを実施。これを楽しみながら、経験豊かな年配者も参加し、子どもたちの世話をするなどの交流をしています。

母子で楽しめるヨガ教室やゆるキヤライイベント、中でもお茶とお菓子を楽しみながら、佐藤舜海住職の法話を聞く「住職とのティータイム」イベントが特に人気で、毎回会場を埋め尽くすほどです。

この取り組みは高く評価され、平成25年2月に大手生命保険会社のよりよい子育て環境の整備に向けた「未来を強くする子育てプロジェクト

てらっこ（工作）



大仏殿



てらっこ

境内の様子

ト」表彰で未来賞を受賞しました。小さな子どもと子育て中のお母さん、おばあちゃんの楽しい会話と笑い声が境内に響き渡っています。

### ○一児の母であるスタッフ 渡辺智恵美さん（小瀬）の声



「子どもと一緒に働いて、多くの人からいろんな話が聞けて楽しいです。人見知りだったうちの子が、

私の交流を見て他の子と一緒に遊ぶようになったのが嬉しいです。お寺の参拝者が子どもを見て喜んでくれるし、会話ができるのも魅力。クチコミで利用者も増えてきました」

### ○利用者 古田春香さん（小瀬）の声



「友達に教えてもらって『てらっこ』を知りました。小ぢんまりしていて、子どもを遊ばせやすいです

ね。ママ友達も増えて話も楽しいですし、イベントも楽しみで、これから利用したいです」

## ◆境内の茶屋もオープン

寺の境内に30年ほど前にあった茶屋を市民らが復活させた「善光寺茶屋」。てらっこスタッフ（火曜・金曜）と、同寺を活用したイベントを主催するなど地域の活性化に取り組み「関善光寺癒しの会」（日曜）が、市民が寄り合う交流の場を目指して喫茶営業を開始しました。

「てらっこ」利用者とともに、関善光寺に訪れた人たちがゆっくり一服できる場所も作るうと、待望のカフェを併設。お寺という非日常の「癒し」の空間の中で「お寺の茶屋」ならではの魅力を感じることが出来ます。（営業時間 午前10時～午後3時）

### ○スタッフ

#### 中村早苗さん（肥田瀬）の声



「みんなで憩える場づくりと母親を応援したいという思いがこの取り組みになりました。離乳食、にゅうめんなどもあり、小さなお子さん連れで気軽に使ってほしいです。てらっこの館内にも運びます。参拝者も含めた市民の皆さん全員で運営している思いです。」

### ○利用者



#### 橋本千枝子さん（西旭ヶ丘）の声

「よく利用していますよ。座敷があつて、子どもを寝かせることも。ほっとできる場所で嬉しく思います。」



善光寺茶屋（てらっこ主催）



善光寺茶屋（関善光寺癒しの会主催）

## ◆観光名所としても有名

もとより、名所として有名なお寺であり、高い石垣の上の本堂は、信州善光寺とうりふたつで、日本で唯一の「卍型戒壇巡り」があります。

大きな大仏様が鎮座し安産祈願で知られる大仏殿、後ろの安桜山の鐘つき堂まで登ると参拝者も打つことが出来る岐阜県指定重要文化財の大梵鐘など貴重な文化財が並んでいます。

春は桜、秋は紅葉の名所としても知られ、四季折々に表情を変えます。庭内には天然記念物である樹齢300年といわれるサザンカの木もあります。

境内の横を発着点とする安桜山散策道は市街地を一望できます。



大梵鐘

### 宗休寺（関善光寺）の文化財

- ◇大梵鐘（天文9年）＝岐阜県指定重要文化財
- ◇大仏殿（宝暦9年）＝関市指定重要文化財
- ◇本堂（文政10年）＝関市指定重要文化財
- ◇善光寺如来堂（寛政10年）＝関市指定文化財
- ◇半鐘（元禄13年）＝関市指定重要文化財
- ◇サザンカ＝関市指定天然記念物

## ◆多彩なイベント

### 盛りだくさん

毎月第1日曜日には、もったいない精神で地域の活性化や環境問題などに取り組み「NPO法人ふれあいマーケット兼市楽座」によるフリーマーケット会場として関善光寺が活用されています。

また、市民の有志でつくる実行委員会による「せきまちなか寄席」（落語の独演会）などの話芸イベントや音楽コンサートも随時開催されています。

子どもたちに地域の文化を知ってもらおうと「関善光寺癒しの会」主催で、昨年8月には写生大会や林間学校なども開かれました。

## ◆取り組みについて

### 佐藤舜海住職は



「最近の子どもたちは家の中でゲームをして過ごすなど、実にもつたいない気がします。お寺に親し

みを感じてもらい、少しでも寺離れが減って、気軽に集まれる場所として使っていただければ、こんなに嬉しいことはないです」と話します。



写生大会



林間学校

# 関善光寺

市民活動、交流のできる古刹

お寺のにぎわいを取り戻し、気軽に集まれる場所を作ろうと、多くの市民が活動しています。桜の季節となりました。ぜひ関善光寺に足を運び、交流の輪を広げませんか。



春は美しいソメイヨシノが見られます（夜はライトアップもされます）

**問い合わせ先**：宗休寺（関善光寺）  
参拝時間：午前9時～午後5時  
☎22-2159 関市西日吉町35

**アクセス**：長良川鉄道・関駅から徒歩約5分  
東海北陸自動車道・関ICから車で約20分